

第 12 期 『耕人塾』で目指しているもの

『耕人塾』第 12 期、21 名の塾生を迎え、この度塾長を拝命しました石巻専修大学人間学部の横江です。一生懸命精進いたしますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

『耕人塾』は、平成 24 年 10 月の活動開始以来、巣立った中・高校生は 300 人に上ります。修了した塾生の中には、社会人として活躍している人も多くいます。また、社会人の傍ら耕人塾の教学委員として後輩を指導するなどその精神が脈々と受け継がれています。この礎を築かれた前塾長木村民男先生の理念を引継ぎ、新たな第一歩を踏み出したいと考えております。

このような背景を踏まえ、『耕人塾』の趣旨は「石巻地域の中・高校生の『人間力』を磨き、地域社会に貢献する人材を育成し、併せて大学生や市民の学びの場にする」ことです。テーマは「世界に誇れる石巻地域にしよう～発信！未来へ～」、実践事項は「あいさつ・清掃・ゴミ拾い+1 (プラスワン)」で、これまでと同じです。

さて、「人間力とは何か」と問われて、塾生の皆さんはどんな答えををするでしょうか。『耕人塾』では「人間力」を「徳・体・知」ととらえ、徳を養い、心体を鍛え、知を高めるとしています。『耕人塾』での学びや活動を通して「人間力」を磨き、その「人間力」を「利他の心」で実践していくことが「地域社会への貢献」に繋がると考えています。

実践活動の「あいさつ・清掃・ゴミ拾い+1」については、全体での活動も継続していきませんが、個人での取り組みをさらに推進するために、実践内容の継続的な記録や話し合い活動を取り入れ、相互に切磋琢磨することによって、充実した実践に繋がりたいと思っています。活動のコンセプト（基本的な考え方）は「主体・楽しさ・創造」ですが、塾生の主体性や創造性を生かし、さらに楽しい活動にしていくために、学校や学年を超えた「仲間づくり」を通して、自ら問いを見出し、塾生の多様な考えを取り入れながら、合意形成を目指す活動を企画しています。また、中・高校生の交流のみならず、大学生、教学委員、地域の方などの交流を通じた新たなつながり（ナナメの関係）を一人一人の実践に生かしてほしいです。

そこで、第 12 期は《交流活動》と《耕人塾マイプロジェクト》を柱として活動を進めます。《交流活動》は、塾生一人一人がグループ討議や実践活動等を通して、テーマ「世界に誇れる石巻地域にしよう～発信！未来へ～」に基づく課題解決に向けて追究していく活動です。そのために、各分野で活躍している方々の講話を聴き、課題を共有して参加者と対話を行い、自己の課題を追究して自己目標や活動を振り返るとともに、次の活動に生かしていきます。《耕人塾マイプロジェクト》は、石巻地域の課題について考えたことをもとに、班ごとに課題解決のためのプロジェクトを企画していく活動です。

最後に、テーマである「世界に誇れる」についてです。東日本大震災から 12 年が経過し、河川などの物的復興はかなり進んでいますが、心の復興はこれからも大切だと考えています。『耕人塾』の塾生である皆さんが「人間力」を磨き、実践活動を通して他団体や市民と連携し、地域社会への貢献活動をすることによって、故郷を愛する輪が広がり、住民相互の温かな交流や自然を大切にする実践が「世界に誇れる石巻地域」に繋がると考えています。

「苟日新 日日新 又日新」(經書「大学」)

まことに日に新たなり 日に日に新たに して 又日に新たなり

古代中国：殷の湯王は、毎朝顔を洗う青銅製の水盤にこの言葉を刻み込んで自分を奮い立たせていたといわれています。努力して王となった彼は、「日々新しいことに挑戦し、日々新しい発見を求め、日々成長できるように努力しなければならない」と、自分に言い聞かせていたのだと思います。

日々を新たな気持ちになって取り組むことは容易ではありません。耕人塾には継続の塾生と新規の塾生が 21 名参加しています。新たな気持ちで「いろんなことに挑戦し成長してほしい」と願っております。そこで、成長するためには夢をもつことが大切です。夢は言葉にすることで自分が目指す具体的な目標になり、目標は書いて周りに知らせることで自分自身の決意になります。第 12 期の具体的な目標をしっかりと立ててください。そして、夢の実現に向けて焦らずに継続した行動が何よりも大切です。「有言実行」あきらめずに頑張りましょう！